

3 17年前の発見が新種の恐竜と判明



生体復元画
©Kanon Tanaka_田中花音

2007(平成19)年に丹波篠山市の篠山層群で発見された化石が新属新種の植物食恐竜と判明し、「ササヤマグノームス・サエグサイ」と名付けられました。発見者で地元の地学愛好家の足立洲さんに、市内の地層の特徴や発掘の魅力について聞きました。(取材・文 本紙編集部)



足立洲(あだち・きよし)さん

1943(昭和18)年生まれ。83年に当時の篠山町(現丹波篠山市)内の高校に転勤し、篠山層群に興味を持ち化石を調べよう。2004(平成16)年に定年退職後は、調査に注力。06年には、友人と共に「タンパティタニス・アミキティアエ(丹波竜)」の化石を発見した。

Q.篠山層群の特徴は。

約1億1,000万年前の貴重な地層で、同時代の陸の地層が残っている場所は全国でもほとんどないといわれています。比較的軟らかい地質のため、発掘しやすいという特徴もあります。

Q.今回の発見について。

見つけたのは上顎と歯です。米国の原始的な角竜類と近縁であることが分かり、当時は大陸がつながっていたことを裏付ける発見といえます。また、発掘したエリアからは、腐食しやすく化石になりにくい小型の脊椎動物の化石も出てきました。状態の良い化石が残っているのは、当時その辺りが極めて穏やかな流れの湖沼であったためではないかと思っています。

Q.発掘の魅力とは。

地層に隠れていた化石を見つけた時の喜びは格別です。化石は、恐竜が生きた時代の環境や大陸の状態など、過去の地球の様子を知る手掛かりになります。当時の恐竜の姿や生態を想像することで、生きた証しや生命の神秘も感じられます。

Q.今後の目標は。

篠山層群は貴重な自然遺産なので、そこから学んでもらえるよう、次世代に自分の体験や知見を伝えていきたいです。恐竜を身近に感じて化石に興味を持ち、次なる発見者が現れることを切望しています。

足立さんが発見した角竜類の化石。



ハンマーやのみを使って慎重に削りながら発掘します。

企画展「ヒプノヴェナトル～眠る狩人の発見～」

篠山層群で発掘された別の化石が今年7月、新属新種の肉食恐竜に認定され、「ヒプノヴェナトル・マツバラエトオエオルム」と命名。県立人と自然の博物館では、産出化石一式とパネルを展示しています。

2025(令和7)年1月13日(日)まで 県立人と自然の博物館(三田市弥生が丘6) 同館 ☎079-559-2001 ☎079-559-2007

詳しくはこちら



4 “武者修行”1期生が海外での体験を発表

本年度から始まった「高校生チャレンジ留学～HYOGO高校生『海外武者修行』応援プロジェクト～」は、県が官民協働で高校生の夏休みの留学を後押しする取り組みで、10人が海を渡りました。10月27日に神戸市内で「帰国後報告会」を開催し、参加者が留学先での成果を発表しました。(県国際課)



留学生活で印象に残ったこと ①留学先 ②留学の主な目的

ダンス×韓国

遠藤奈央さん

①韓国 ②K-POPの名門スタジオでプロダンサーからダンスを学ぶ
ダンスはもちろん、メイクやファッションなどKカルチャーをトータル的に学べたことは、日本のスタジオでは味わえない得難い経験になりました。



ラグビー×ニュージーランド

石井仁さん

①ニュージーランド ②ラグビー強豪校で技術を磨き、英語力も高める
日本では部活か仕事(プロ)でしかラグビーをしません。ニュージーランドでは遊びとして公園で気軽に楽しんでいます。ラグビーのもう一つの世界を見た気がしました。

貧困・教育課題×フィリピン

野上真輝さん

①フィリピン ②現地大学生と貧困や教育課題などについて考える
現地の子どもたちと楽しい時間を過ごすうち、途上国支援とは「何かをしてあげる」ではなく、「一緒にこの場所を良くしていく」という姿勢が大事だと思いました。



プロジェクトの概要

高校生のうちにグローバルな視点を身に付けるため、県内の高校に通う生徒を対象に夏休みの留学費を補助(上限50万円)する制度。生徒自身が留学先を決め、現地ではスポーツや芸術、社会貢献など興味のある分野の活動や研究に取り組むとともに、県のアンバサダーとして兵庫の魅力をPRします。来年度は4月ごろまでに募集開始の予定*。詳しくは県ホームページで確認してください。

*議会の予算議決をもって実施

▶ 本年度の留学先・分野の内訳



県国際課 ☎078-362-3026 ☎078-362-3961 兵庫県高校生チャレンジ留学